



2008年7月17日

各 位

会 社 名 アステラス製薬株式会社
代 表 者 代表取締役社長 野木森 雅郁
コード番号 4503
(URL <http://www.astellas.com/jp>)
東 証 ・ 大 証 (各 第 一 部)
決 算 期 3月
問 合 せ 先 広報部長 河村 真
Tel : (03) 3244-3201

下痢型過敏性腸症候群治療剤「イリボー[®]錠」製造販売承認取得のお知らせ

アステラス製薬株式会社（本社：東京、社長：野木森 雅郁）は、このたび、日本において2006年1月に承認申請していた下痢型過敏性腸症候群治療剤「イリボー[®]錠 2.5 μ g、5 μ g（一般名：ラモセトロン塩酸塩）」について、「男性における下痢型過敏性腸症候群」を効能・効果として、製造販売承認を取得しましたのでお知らせします。

過敏性腸症候群（Irritable Bowel Syndrome : IBS）は器質的疾患を伴わず、腹痛・腹部不快感と便通異常（下痢、便秘）を主体とし、それら消化器症状が長期間持続もしくは悪化・改善を繰り返す機能性疾患です。過敏性腸症候群の便通異常や腹部症状は、ストレスをはじめとする種々の病因によって引き起こされ、最終的には腸管神経の過緊張に伴う腸の運動機能亢進によって生ずると考えられています。

「イリボー錠」は、アステラス製薬によって創製されたセロトニン 5-HT₃受容体拮抗剤です。セロトニンは、神経伝達物質の1つで、消化管の運動に大きく関係しています。ストレスなどによって遊離が促進されたセロトニンが、腸管神経に存在する 5-HT₃受容体を活性化することにより、消化管運動を亢進させ、便通異常を引き起こします。また、腸が受けた刺激によってもセロトニンが遊離し、求心性神経終末の 5-HT₃受容体に結合することで、脳に痛みを伝えます。

「イリボー錠」は、5-HT₃受容体を選択的に阻害することで、消化管運動亢進に伴う便通異常（下痢・排便亢進）を改善するとともに、大腸痛覚伝達を抑制し、腹痛及び内臓知覚過敏を改善します。

今回の承認取得により、同剤が過敏性腸症候群の新たな治療の選択肢として貢献できるものと期待しています。

なお、同剤の発売時期につきましては薬価収載後にお知らせします。

承認内容の概要は以下のとおりです。

〔記〕

製造承認取得日 : 2008年7月16日
製品名 : イリボー[®]錠 2.5 μ g、5 μ g（英名：Iribow[®]）
一般名 : ラモセトロン塩酸塩（英名：ramosetron hydrochloride）
効能・効果 : 男性における下痢型過敏性腸症候群
製造販売承認取得者 : アステラス製薬株式会社

以 上